



マルヤス工業株式会社
MARUYASU INDUSTRIES CO., LTD.

Moving forward

技術とチームワークで
世界に笑顔を

Health Management

健康白書

MARUYASU INDUSTRIES CO., LTD.

健康経営の推進



マルヤス工業は社員の健康を

第一に考え

健康経営を推進します

健康経営宣言

心と身体健康は、ワークライフバランスの実現に不可欠であり、
家族と幸せな生活を送るために大変重要です。従業員のみなさん
が心身ともに健康で元気にやりがいを持って働く、豊かな人生で
あることを心より願っております。マルヤスは一人ひとりが
考え、行動し、挑戦できる環境を整え、
健康増進・疾病予防に取り組む
ことを宣言いたします



代表取締役社長
山田泰一郎

1 活動の3本柱イメージ

健康宣言である【心身ともに健康で元気にやりがいを持って働き、豊かな人生を送る】の実現に向け、
マルヤス工業株式会社の健康経営活動は“3本柱”で推進します

①職場主体の全員参加活動

職場全員参加活動として職場上司や先輩、
身近な方からの声かけによって自身の健康状態に
興味を持つ事ができるよう、健康意識向上を目指します

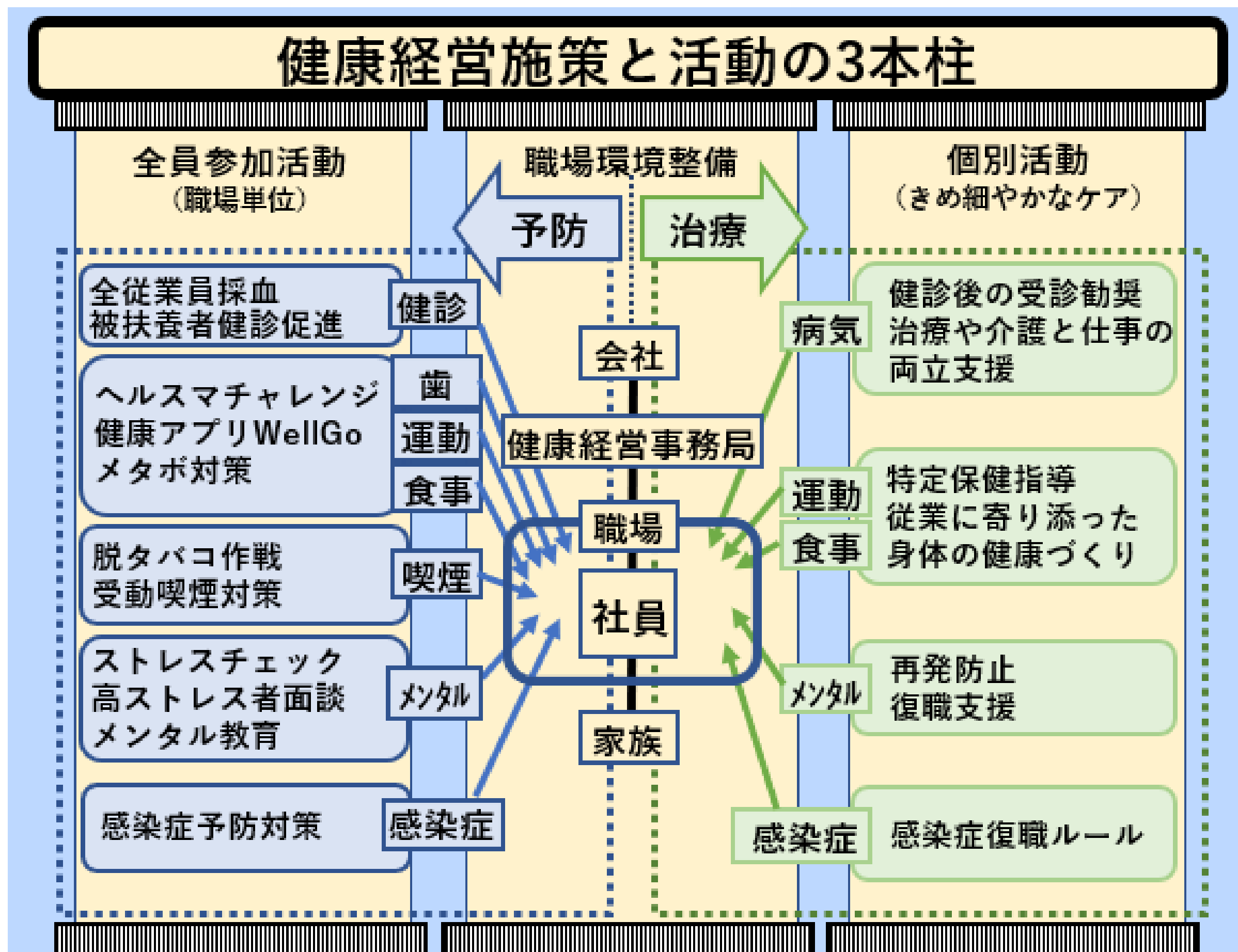
②職場環境整備

健康経営事務局を中心に産業医、労働組合、
トヨタ関連部品健康保険組合と協力し、
やりがいを持って働く元気な職場風土づくりを目指します

③ヘルスサポート機能によるきめ細やかなケア

フィジカルからメンタルまで様々な悩みを受けとめ、
安心して仕事が継続できるよう安定したサポートを目指します

1 活動の3本柱イメージ



2 健康経営の推進体制

健康経営最高責任者を代表取締役社長とし、

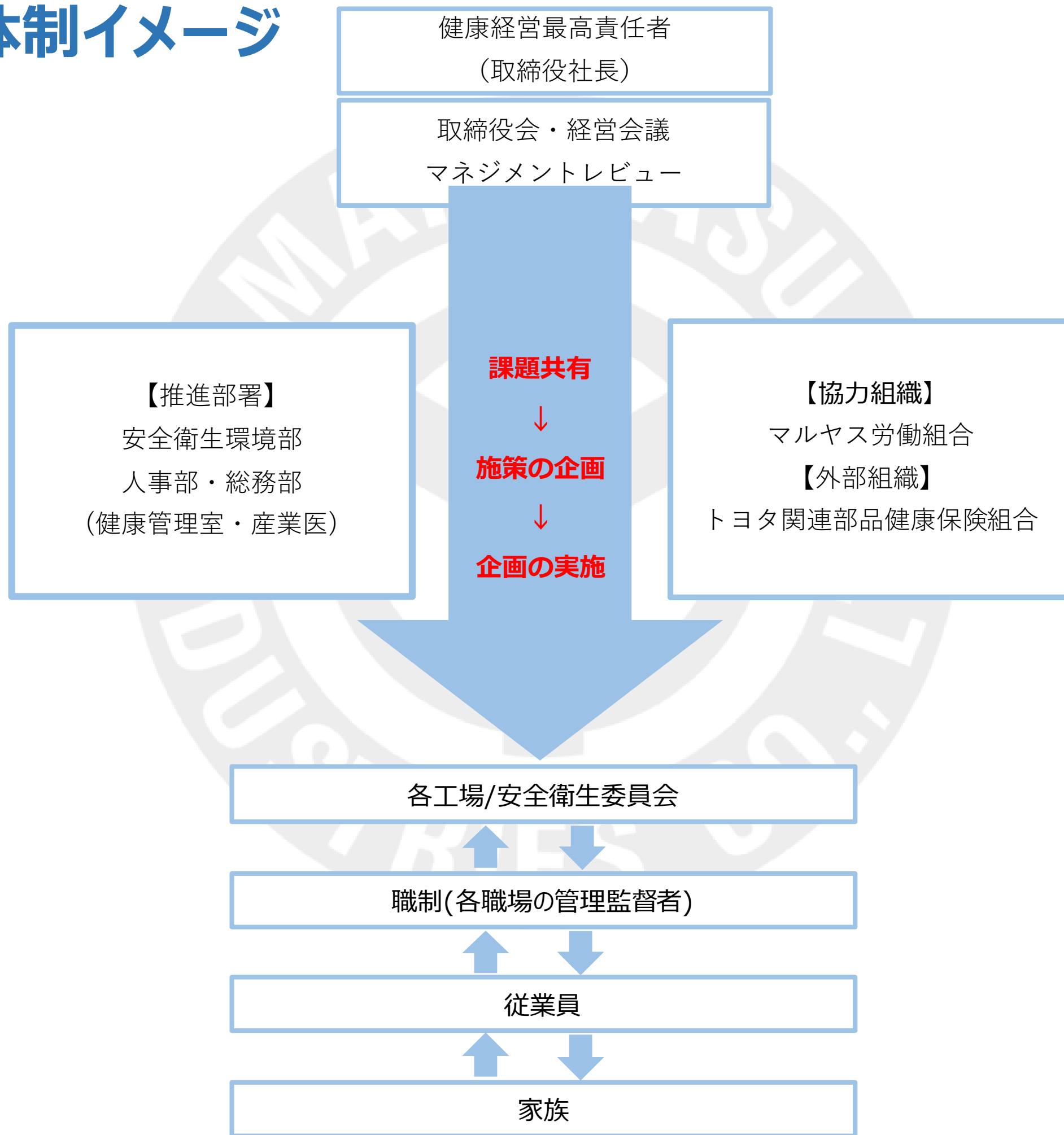
事務局が各職場や産業医、外部組織とともに連携して

健康維持、増進の対策、施策を推進します

健康経営を会社の重要な取り組み事項と位置づけ

取り上げることで、コミュニケーションの向上を促進します

2 推進体制イメージ



3 健康経営の課題と期待する効果

【課題1】

全ての従業員一人ひとりが身体的、社会的にも健康であり続けるには仕事に対し「活力」「熱意」「没頭」を感じられる職場づくり・環境づくりが必要である。

○期待する効果

従業員 1 人ひとりのパフォーマンス向上

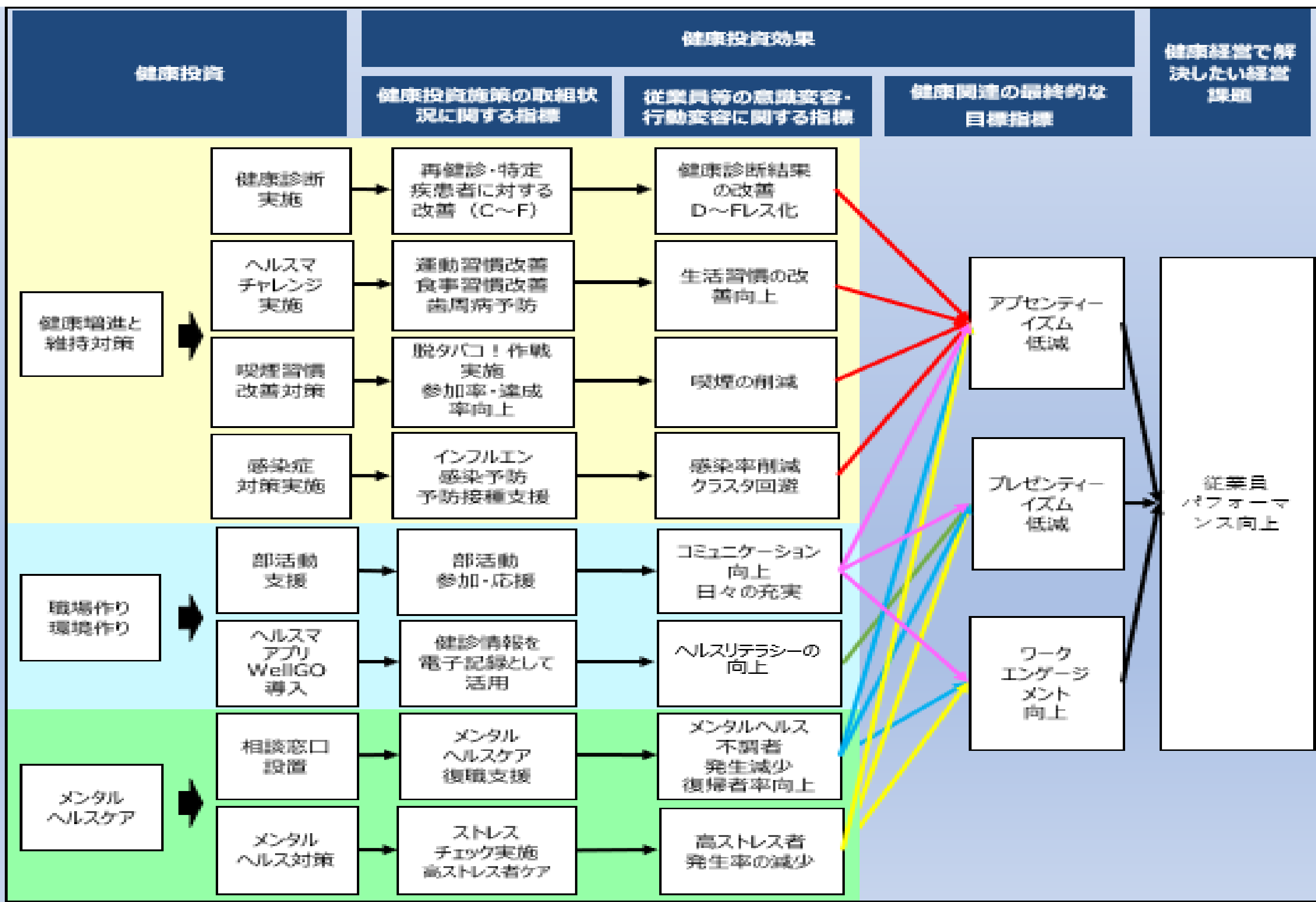
【課題2】

生産年齢人口の減少を背景に、従業員が心身の健康を維持しながら長く働く事のできる職場づくりや育児・介護と仕事を両立できる職場づくり・環境づくりの取組み

○期待する効果

離職率の低下や、生産性の向上が期待できる。

4 戦略マップ



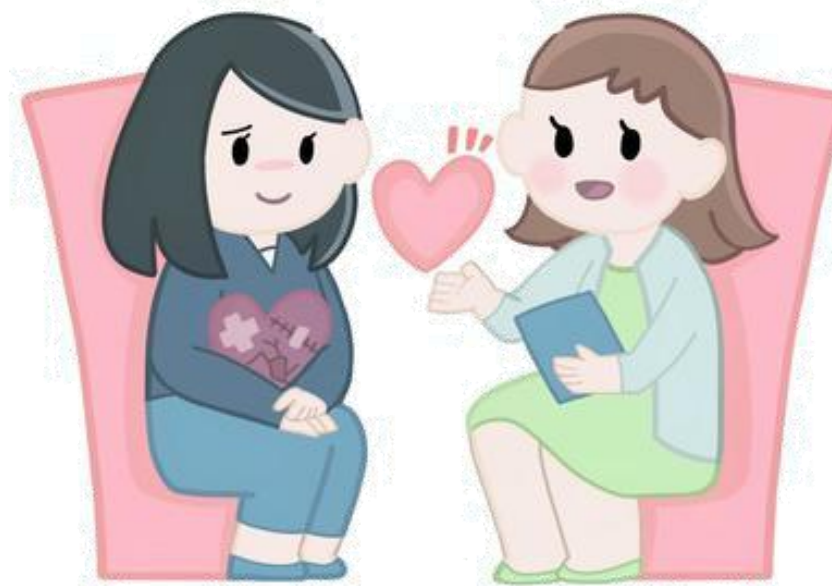
5 健康増進・維持の主な取り組み

健康診断

- ・定期・特殊健康診断を実施し、対象者の健康管理を推進
- ・胃、大腸、婦人科のがん検診を案内し、早期発見に努める
- ・VDT作業者には専用健診を実施し、作業環境に応じた健康支援を実施。
- ・家族健診の受診勧奨も行い、職員とその家族の健康保持を図っています

メンタルヘルスケア

- ・年に1回、全従業員を対象にストレスチェックを実施し、心身の状態を把握しています
(集団分析実施)
- ・ストレスチェックの結果に基づき、高ストレスと判定された従業員で希望した方に産業医による個別面談を行っています。
- ・休職からの復職に際しては、段階的な支援を行い、安心して職場復帰できる体制を整えています



運動習慣改善

昼食後の時間を活用し、社内では「健康ウォーク」として声をかけ合いながら取り組むことで、運動不足の解消だけでなく、コミュニケーションの活性化にもつながっています



生活習慣予防

- ・特定保健指導を法定対象者（40歳以上）に対して実施し、生活習慣病予防を推進
- ・39歳以下の予備群の方にも面談を行い、早期支援に努める
- ・健診後の受診勧奨や随時の面談活動を通じて、継続的な健康支援を実施。
- ・産業医による面談の他、メタボリックシンドローム対策を強化しています



禁煙活動

- ・施設内の喫煙所を段階的に減らすことで喫煙率の低下を促進。
- ・改正健康増進法に基づき、屋内全面禁煙を徹底し、非喫煙者の健康を守っています

健康意識向上活動（食事）

定期健診の際、測定機器（ベジチェック）を用い、普段の野菜の摂取状況を測定
420名の方が実施し、野菜摂取の意識を向上を図りました
（2026年6月の活動）

食習慣改善

カロリー表示を行い、見える化することで食べすぎを防ぎ、適切な食事量を意識できるようにする。栄養バランスの取れたヘルシーメニューを提供し、健康的な食生活とともにTable for twoの活動を通じた社会貢献活動も実施しています



健康組合共同活動

◎ヘルスマチャレンジ

自分に合ったコースを選び、運動や食事、歯のケアの他、睡眠などの目標に3ヵ月間取り組む健康づくりイベントを年1回実施

◎脱！タバコ作戦

禁煙への意識向上を目的としたイベントで、組合員の参加を呼びかけている

◎ヘルスマアプリ「WELLGO」の活用

歩数記録や体重管理など、日々の健康行動をサポートするツールとして活用している。本アプリでは健康診断結果がアプリ上で更新され、いつでも確認できるようにしています

感染症対策

感染拡大を防ぐため、発生時の迅速な対応体制を整備し、感染者の把握や感染症の流行状況などの把握に努めています。また、希望者へインフルエンザ予防接種を実施し、重症化予防と職場内感染の抑制を図っています

手指衛生の徹底を促すため、施設内に消毒液を常設し、利用を呼びかけています。感染症罹患後の復職に関する基準を設け、職場内での再感染防止と安全な勤務環境を確保しています

応急手当教育（A E D）

社内教育を実施しています。体調不良の方が発生した場合に対応できるよう、A E D 及び胸骨圧迫（CPR）訓練を含め、A E D 普及員の指導の下、実施しています（2026年約500名実施）



安全衛生委員会の開催（毎月 1 回）

各事業所で毎月安全衛生委員会を開催し、安全対策の向上や衛生活動の推進につなげています

STOP 6 に基づいた安全点検活動の実施

毎月職場相互点検として、安全衛生委員会で構成されたメンバーでの安全点検活動を実施し、ゼロ災に向け取り組んでいます。

6 地域連携によるスポーツ振興と健康づくり

岡崎市スポーツ協定（FCマルヤス岡崎）

岡崎市とマルヤス工業がスポーツ振興協定を締結し、
市民との交流や青少年支援を通じて、地域活性化に貢献しています

取組事例その1

岡崎市ナイトマラソン協賛（マルヤス工業）

地域の健康づくりとスポーツ振興を目的に、
マルヤス工業は「岡崎サタデーナイトリレーマラソン」に協賛。
市民参加型のイベントを通じて、運動習慣の定着と地域交流に貢献しています



取組事例その2

FCマルヤス岡崎を通じて、地域の健康づくりやスポーツ機運の醸成を推進。
市民との交流や青少年支援を通じて、地域活性化に貢献しています

岡崎花火大会後のゴミ拾い



籠田公園の清掃活動



地域の方と一緒に体を動かして遊ぶ



通学の見守り活動



7 労働組合との共催イベント 2025年の取組み

従業員間のコミュニケーション促進の一環として、会社及び労働組合共催の「地引網体験・BBQイベント」を開催し、総勢136名（従業員とその家族含む）の皆さんが参加しました。当日は、子どもから大人まで笑顔あふれる姿が多く見られ、家族で過ごすひとときが素敵な思い出となりました。自然の中での体験を通じて、参加者同士の交流も深まり、心温まる一日となりました。



8 健康状況 目標と実績

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
健康診断「低リスク者率」	38.6%	38.8%	37.4%	34.9%	33.8%
【参考】一人当たり医療費（千円）	89	108	99	118	122

【低リスク者】の定義

39歳以下＝肥満・血圧・脂質異常・糖代謝の検査項目須全てが「正常」の判定

40歳以上＝肥満・血圧・脂質異常・糖代謝の検査項目須全てが「正常」か「やや注意」の判定

【一人当たりの医療費】の定義

年間総医療費（本人・家族）／被保険者数

『ビジョン目標』 低リスク者率 43%以上

	低リスク者	健診受診者
21年度	357名	925名
22年度	346名	892名
23年度	342名	915名
24年度	325名	932名
25年度	311名	919名

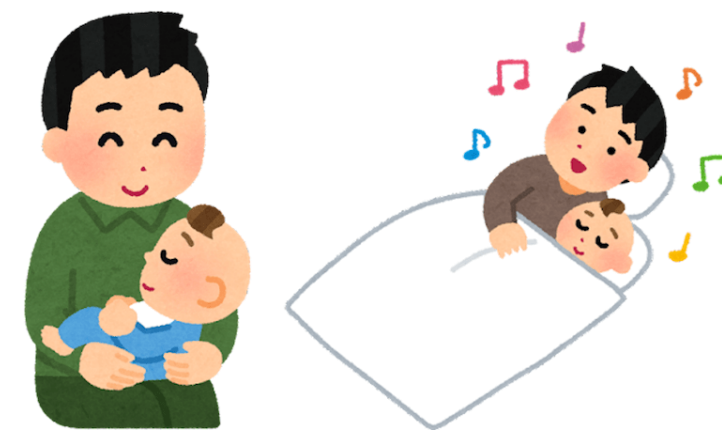
**2026年度目標達成には
低リスク者を85名増やす必要あり**

8 健康状況 目標と実績－① 実績（労務状況）

事業年度	一人平均月間労働時間（時間）	一人平均月間所定外労働時間（時間）
2019	187	37
2020	177	26
2021	191	32
2022	176	28
2023	177	28
2024	177	27
2025	177	28

事業年度	平均年次有給休暇取得率（％）	平均年次有給休暇取得日数（日）
2019	72.5	14.2
2020	61.5	12.3
2021	69.0	13.8
2022	86.0	17.2
2023	79.0	15.8
2024	77.0	15.4
2025	79.5	15.9

事業年度	男性育児休業取得率（％）
2023	21.7
2024	34.8
2025	57.1



8 健康状況 目標と実績－② 実績（健康づくり状況）

健康経営の取組みに関連する各指標

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2026年度目標

健診	定期健診受診率（％）		100	100	100	100	100	100	100	100	
	がん検診受診率 （35歳以上）	胃	—	—	42.9	42.8	39.1	37.5	40.3	—	55.0
		大腸	—	—	49.0	48.2	44.0	46.1	48.5	—	55.0
		乳	—	—	46.8	37.5	32.7	29.3	26.4	—	55.0
		子宮	—	—	35.4	34.3	23.3	26.9	22.6	—	40.0
	受診勧奨件数		192	247	247	231	170	203	246	—	—
	家族（被保険者）の健康診断受診率（％）		47.5	48.8	55.3	56.7	60.2	61.3	57.3	—	62.0以上
	低リスク者率（健康診断結果）（％）		42.0	38.3	38.6	38.8	37.4	34.9	33.8	—	43.0以上
有所見者率	肥満（BMI25以上者率）（％）		24.7	27.8	25.8	28.0	28.5	30.8	30.9	—	23.0以下
	血圧（最高血圧130以上または最低血圧85以上）（％）		17.1	18.4	19.6	24.7	22.3	23.1	25.6	—	—
	脂質異常（中性脂肪150以上、HDLコレステロール35以下、LDLコレステロール120以上）（％）		46.8	53.6	53.9	52.9	52.2	53.4	53.0	—	—
	糖代謝（空腹時血糖100以上）（％）		34.4	33.3	32.5	34.5	41.9	42.6	41.9	—	—
ストレス	ストレスチェック受験率（％）		96.7	96.9	91.6	83.5	89.7	93.5	91.9	91.0	100
チェック	高ストレス者率（％） 『ヘルスマチャレンジ』目標達成者率（％）		14.2	10.4	12.5	11.1	11.9	14.0	13.5	10.8	10未満
保健指導	特定保健指導初回面談実施率（40歳以上）（％）		—	—	55.1	59.6	64.2	66.3	64.4※1	—	現状維持（50以上）
	特定保健指導終了率（40歳以上）（％）		—	—	55.1	58.4	63.2	62.0	62.2※1	—	現状維持（50以上）
健康活動	生活習慣改善意識	『ヘルスマチャレンジ』運動改善達成率（％） ※2	79.0	71.5	71.1	64.0	61.5	61.3	68.4	—	81.0
		『ヘルスマチャレンジ』食事改善達成率（％） ※2	84.1	81.9	88.5	78.3	75.6	71.8	73.5	—	90.0
	運動習慣	運動習慣者比率（1回30分以上の運動を週2日以上実施）（％）	—	—	—	—	28.4	27.7	30.9	30.5	36.0
		歩行または同等の身体活動を1日1時間（％）	—	—	—	—	68.0	68.4	68.6	67.6	75.0
		同年齢の同性と比較して歩くのが速い（％）	—	—	—	—	44.1	43.7	45.8	47.5	48.0
	食事習慣	早食いをしない（％）	—	—	—	—	70.0	69.2	68.8	68.5	—
		就寝前2時間以内の夕食が週3回未満（％）	—	—	—	—	55.5	57.6	58.7	59.3	—
		3食以外の間食をほとんど摂取しない（％）	—	—	—	—	20.1	18.2	20.6	18.9	—
		朝食を抜く頻度が週3回未満（％）	—	—	—	—	73.0	72.2	73.4	72.5	67.0
	睡眠	睡眠で休養が充分とれている（％）	—	—	—	—	59.3	58.8	56.3	58.1	67.0
	禁煙	喫煙者率（タバコを吸う）（％）	34.5	33.1	32.3	32.5	31.2	30.5	29.9	29.5	25.0
		『脱タバコ作戦』達成率（％）	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	定期健診受診率（％）			100	100	100	100	100	100	100	100

※1 概算値（確定値で変更の可能性あり）

※2、ヘルスマチャレンジ達成率（運動・食事）の算出方法 2025年から一部変更

8 健康状況 目標と実績－② 実績（健康づくり状況）

健康経営の取組みに関連する各指標

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2026年度目標

安全活動	労働安全衛生	安全衛生委員会開催回数（数）	12	12	12	12	12	12	12	—	12
		休業労働災害（件数）	0	0	0	0	0	1	0	—	0
		不休労働災害（件数）	0	5	3	3	5	2	1	—	0
		死亡労働災害（件数）	0	0	0	0	0	0	0	—	0
<結果>	ワークエンゲージメント ※3	新職業性ストレス簡易調査票調査項目①活力								2.2	—
		測定者数								921	—
		回答者率 %								91.5	—
		// ②誇り								2.4	
		測定者数								920	—
		回答者率 %								91.4	—
	アブセンティズム ※4	1人当たりの日数								2.5	—
		測定者数								893	—
		回答者率 %								88.7	—
	プレゼンティズム ※5									79.9	—
		測定者数								907	—
		回答者率 %								90.1	—

<結果> 調査回答方法；ストレスチェック57項目に、以下追加項目4項目を設定し回答を集計。回答方法は、書面回収とWEB回答で実施。

※3. ワークエンゲージメント 新職業性ストレス簡易調査票に含まれるワークエンゲージメントに関する2項目（活力・誇り）を測定。値が高いほど良好な状態である。

※4. アブセンティズム 1年間に、自身の病気やケガなどの体調不良で何日仕事を休んだ1人あたりの日数。回答「数字（単位：日）」※1人あたりの日数が低い方が良好な状態である

※5. プレゼンティズム 東大1項目版を用い、出勤はしているものの心身の不調によって本来のパフォーマンスを発揮できていない状態を集計。回答（1～100%）値が高いほど良好な状態である。

<安全活動：参考資料>

マルヤス工業 安全五訓



1. 安全第一 安全はすべてに優先
2. すべての作業はルールに従う
3. 動いているものには手を出さない
4. 異常発生時はまず報告
そして 止める 呼ぶ 待つ
5. 省略行為・手抜きは事故のもと

マルヤス工業株式会社

1974年(昭和49年)4月1日制定

2005年(平成17年)4月1日改定

2015年(平成27年)7月14日改定

安全に関する一般常識ルール

- ・墜落防止処置(安全帯フック使用確認・危険箇所事前確認等)を徹底する
- ・多人数の場合、お互いに合図をする
- ・いつもと違うのは危険のはじまり必ず対策
- ・これ位なら・だろう作業運転はしない
- ・ポケナシ(ポ:ポケットに手を入れない,ケ:携帯の操作通話・ヘッドホンをして歩かない,ナ:斜め横断しない,シ:しっかり左右(指差確認)を確認して横断する)
- ・ポイ捨て・チョイ置きはしない

安全衛生室